

本当に

あなたのお住まい

快適・健康に過ごせていますか？

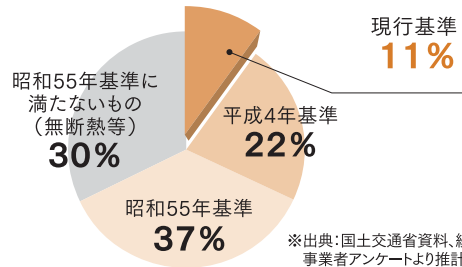
ご存知ですか？

日本の住宅は、断熱対策が十分ではなく、寒い住宅が多い！！

新築住宅の省エネ基準[※]への適合義務化が進められている一方、既存住宅ストック約5,000万戸のうち、現行の省エネ基準[※]に適合している住宅は2018年度時点でわずか約1割にとどまっています。

※平成28年省エネ基準

住宅ストック約5,000万戸の断熱性能(2018年度)



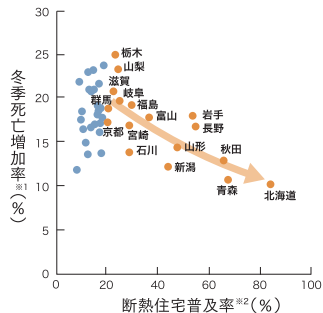
※出典：国土交通省資料、統計データ、事業者アンケートより推計(2018年)

寒すぎる家は健康にも影響。ヒートショック対策が今、求められています。

事実 寒冷な地域より温暖な地域の方がむしろ冬季の死亡増加率が高い。

冬季の死亡増加率は寒冷な地域よりも温暖な地域の方が高く、その原因は断熱性能が高い住宅の普及が進んでいないためであると考えられています。

※ 国土交通省第49回住宅地分科会(2019年)慶應義塾大学教授伊香賀臨時委員提出資料より。※1 厚生労働省「人口動態統計(2014年)」都道府県別・月別より、冬季死亡増加率は4月から11月の月平均死亡者数に対する12月から3月の月平均死亡者数の増加割合。※2 総務省「住宅・土地統計調査2008」より。断熱住宅普及率は(二重サッシ又は複層ガラス窓のある住宅数) / (居住世帯のある住宅総数)



事実 入浴中の急死者数は、交通事故の死亡者数よりも多い。

入浴事故は、熱めの湯に長く入浴することが原因の一つと言われており、入浴中の急死者数は年間19,000人との推計もあります。[※]断熱改修により、居間、脱衣所の室温が改善した住宅では、熱めで長めの入浴をする割合が減少しています。

※ 消費者庁「News Release 冬季に多発する高齢者の入浴の事故に御注意ください!」より抜粋。



入浴中の急死者数は交通事故による死者数の4倍以上[※]

※一般社団法人ベターリビング発行「あたたか住まいガイド」より

新築そっくりさんの高断熱リフォームで叶えられること

必要な範囲だけ お気軽に

家1棟まるごとはもちろんのこと、1階だけでも、お部屋単位でも必要な範囲のみ、リーズナブルに断熱性能を高めることができます。

新築並の 暖かさを実現

現行省エネ基準[※]に適合した断熱効果を得られることで新築住宅と同等の暖かさをご体感いただけます。
※平成28年省エネ基準

冷暖房費削減も

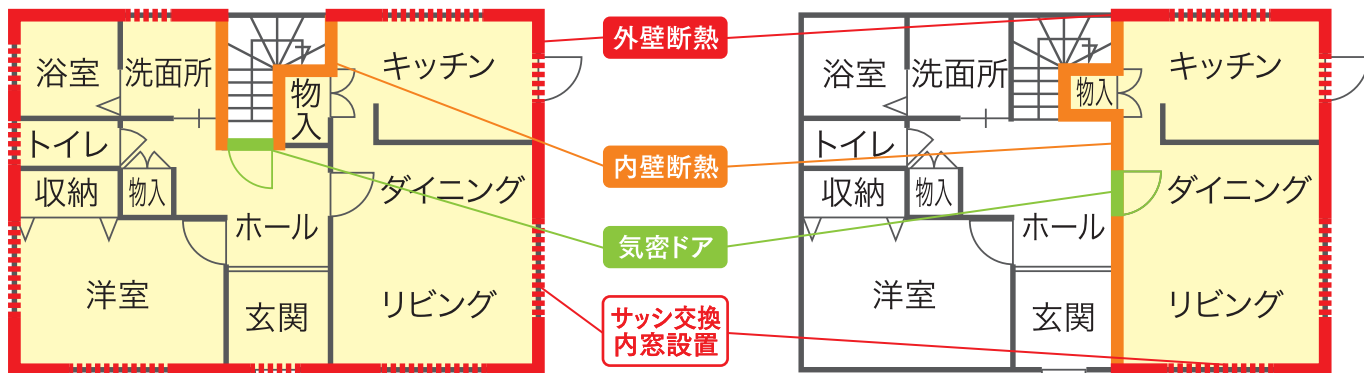
高い断熱性能により、夏期・冬期の冷暖房費が低減され、家計にもやさしい住まいへと生まれ変わります。

リフォーム時が断熱性能を高める絶好のチャンスです!!

新築そっくりさんの 高断熱リフォームで叶えられること

必要な範囲だけお気軽にリフォームが可能!

家1棟まるごとはもちろんのこと、1階だけでも、お部屋単位でも必要な範囲のみ断熱性能を高めることができます。部分的な断熱工事を行う場合は、外部に面さない内壁にも断熱材を、出入部分には気密ドアを設置します。「断熱したいけれど、費用がかかりすぎる」との声に新築そっくりさんがお応えします。



主な生活階が決まっていて、
トイレや入浴時も暖かく過ごしたい方は
ワンフロア断熱リフォーム

コストを抑えつつ
LDKや仕事部屋だけでも暖かくしたい方は
ワンルーム断熱リフォーム

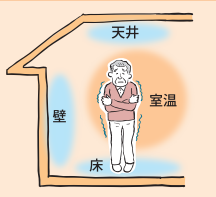
新築住宅のように暖かく快適な住まいを実現

新築住宅の省エネ基準※に適合した断熱材を床・壁・天井の6面に施し、サッシ交換や内窓を設置する他、換気の際に室内の暖かさを再利用(熱回収)する「全熱交換型換気システム」の導入により、暖かく快適な住まいに生まれ変わります。

※平成28年省エネ基準

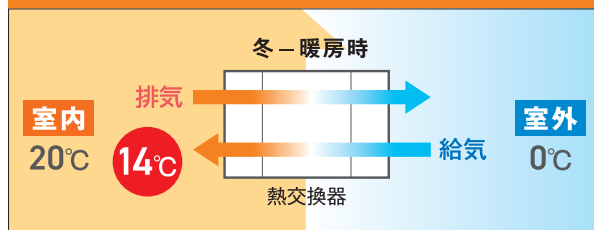
快適な
住まい

住まいで快適に過ごすための指標となるのが「体感温度」です。「体感温度」は室温に加えて、床や窓・壁の表面温度に影響されますが、断熱性能が低い住宅は表面温度が室温に比べて低くなり、一層寒く感じます。快適な住まいの実現には表面温度の向上が重要です。



■全熱交換型換気システム

温度交換効率 **72%** たとえば室内温度20℃の場合。
0℃の外気を14℃にして室内へ。
※「強」運転の場合

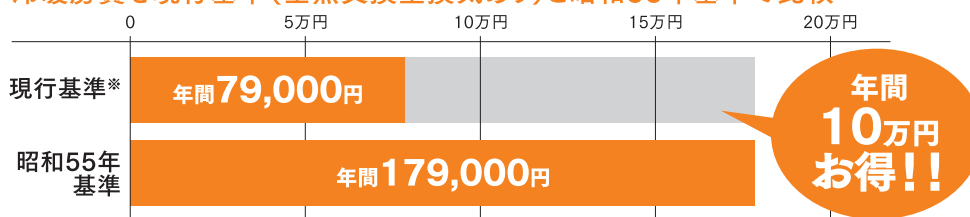


※「静音」運転の場合の熱交換効率は92%

高断熱リフォームで年間10万円の冷暖房費を削減

現行省エネ基準※の断熱性能を有する高断熱住宅での暮らしは、夏期・冬期の冷暖房費が低減するため昭和55年基準の住宅に比べて、光熱費が年間10万円削減される計算になります。 ※平成28年省エネ基準

冷暖房費を現行基準(全熱交換型換気あり)と昭和55年基準で比較



※23区全館連続運転空調(夏27℃、冬20℃で温度設定)約33坪、すべての居室をエアコンによる空調、電気単価30円、当社計算による。
※上記の比較においては、局所暖房(こたつ、ヒーター等)の使用は考慮していません。
※この計算結果はシミュレーションによるものであり、冷暖房費を保証するものではありません。